

# 消費者に「ステーキの食べ方」できく

意外と少ないステーキを食べる回数  
ネックになっている価格の問題



古いアメリカのテレビドラマのワンシーンでステーキがテーブルに乗り、楽しそうに家族が食事をする場面がみられた。それも骨付きのTボーンと呼ばれるようなステーキだったように思う。思えばステーキというのはアメリカを代表する肉料理であり、“裕福”を象徴するようなメニューであったようだ。しかし最近、家庭でステーキを焼く機会が減っている。それほどむずかしくなく手軽に出来、牛肉を堪能出来るステーキなのにそれはなぜなのか。そこで今回の「ネットDe アンケート」ではステーキに焦点をあて、家庭でのステーキの食べ方を探ってみた。果たして家庭で食されるステーキはどのような具合になっているのか。

アンケートの有効回答数は1,865件。うち女性が57%、男性が43%の割合。年代別では30代が一番多く35%、次いで20代の22.1%、40代21%、50代13.6%の順となった。都道府県別の割合は東京が11.6%でトップ。神奈川9.5%、埼玉6.9%、大阪6.7%、愛知6.4%が上位を占めた。

Q1 家でステーキを焼いて食べる頻度は

- 毎日..... 0.1%
- 2日に1回..... 0.3%
- 3日に1回..... 0.8%
- 4日に1回..... 0.5%
- 5日に1回..... 0.9%
- 6日に1回..... 0.5%
- 1週間に1回..... 6.9%
- 月に2、3回..... 37.1%
- 年に数回程度..... 48.7%
- 全くない..... 4.0%
- 無回答..... 0.4%



## 「ステーキ離れ」が進む

「年に数回程度」という回答が一番多く、48.7%と半数近い数字に。やはり多くの家庭でステーキは家庭の定番の肉料理とはいえなくなっているのかもしれない。次いで多かったのが「月に2、3回」の37.1%で、この二つの回答を合わせると85.8%と8割以上の割合を占めた。

「1週間に1回」(6.9%)という回答割合が3番目であったが、「全くない」という回答が4%を占め第4位に。ステーキを食べる機会が全くないという回答が4%あったというのは少し驚きだ。鍋物や焼き肉に比べてステーキは手軽に出来るメニューであるのに、それが食卓にのぼらないということはそれほどステーキ自体に魅力がないということなのだろうか。

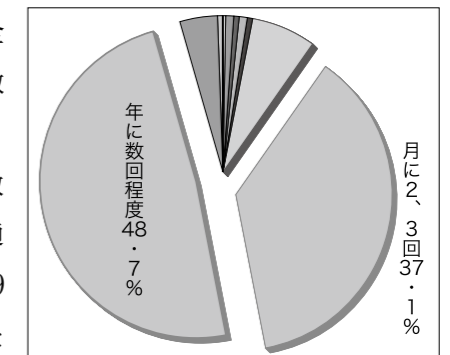
日本食肉消費総合センターが毎年行っている「季節別食肉消費動向調査」にも、“ステ

ーキ離れ”ともいえるような現状になっている。牛肉を使った料理で平成6年にはステーキの出現

頻度(全料理件数を100とした数値)は通年で11.9であったのに、10

年後の平成16年では8.3にまで下落。この10年間で牛肉自体の使用頻度が下がっているの、この数字以上にステーキは下がっていると考えられる。

では、何が原因で“ステーキ離れ”が起きているのだろうか。その要因を後述のアンケートでみてみたい。



Q2 家でステーキを焼いて食べたいと思うときは

誕生日などの特別な日	26.2%
週末	7.9%
食べたいと思ったとき	38.6%
祝祭日	1.7%
献立メニューが思いつかないとき	1.0%
売り場で安売りをしてたとき	20.2%
POPなどが目に入ってきたとき	1.1%
その他	2.3%
無回答	1.1%

## トップに「食べたいとき食べる」

「食べたいと思ったとき」という回答が38.6%と4割近くを占めた。買う側にも明確にステーキという意識はないのだろう。テレビなどのメディアが取り上げたり、たまたま売り場でステーキをみたりしてステーキが食べたくなり衝動的に買うパターンが多いようだ。

次にあげられたのが「誕生日などの特別な日」の26.2%。この数字をみる限りでは“ステーキ=ご馳走”という昔から続く考え方がまだまだ生きているのかもしれない。次が「売り場で安売りをしてたとき」の20.2%。この回答は直に売りに影響を与えるものであり、売り場でステーキの特売セールをやれば2割の人が食いついてくれるわけだ。

では、都道府県別にこの質問をみてみよう。

**東京** 「食べたいと思ったとき」と回答した人が44.8%となり全体の平均値よりも高い割合に。その代わり「誕生日などの特別な日」が19.3%、「売り場で安売りをしてたとき」が18.9%となり、共に全体の平均値を下回った。とくに「誕生日などの特別な日」で7%弱下がっている。

**神奈川** 「食べたいと思ったとき」の回答が39.1%となり、ほぼ全体の平均並み。「誕生日などの特別な日」も26.4%とこちらもほぼ同割合であった。3位の「売り場で安売りをしてたとき」は17.8%となり下回る結果に。代わりに割合が高くなったのが「週末」の10.3%で、全体の平均値よりも2%以上高くなった。

**大阪** 全体の平均値と比較して「食べたいと思ったとき」の割合が高くなっており、42.3%と4割以上を占めた。その次にくるのが「売り場で安売りをしてたとき」の22.0%でこちらも平均値を上回っている。また「週末」の回答も8.1%あり平均値以上に。その分下がったと考えられるのが「誕生日などの特別な日」で、その割合は18.7%となり7%以上のダウンとなった。

**愛知** 大阪同様に「食べたいと思ったとき」の割合が46.7%とかなり高くなっており、全体との差は8%以上。ただ大阪と違う点は3番目に高かった「売り場で安売りしていたとき」で、その割合は16.4%となり、全体の平均値すらも下回っている。ここらあた

りに県民性の違いが出てきているのだから、全体の平均値と比較すると11.2%も上回っている。

**北海道** やはり「食べたいと思ったとき」の回答割合は高いが、34.3%で全体の平均値を下回っている。次に来るのが大阪と同じ「売り場で安売りをしてたとき」で。その割合は31.4%と大阪以上に高く、トップの割合に迫るような数字だ。全体と比較すると11.2%も上回っている。

**福岡** トップは「食べたいと思ったとき」の32.7%、2位は「誕生日などの特別な日」で26.1%、3位は「売り場で安売りしてたとき」の23.2%となり全体の平均値と比較して上位3つの差が小さくなっている。

Q3 家庭でステーキを焼く場合、最もよく使う肉は

牛肉	85.1%
豚肉	8.5%
鶏肉	3.4%
羊肉	0.2%
馬肉	0.1%
その他	0.6%
無回答	1.9%

## ステーキはやはり牛肉で

豚肉の需要は伸びてきている。さまざまな要因が考えられるが、その一つに豚肉を使った新たな料理提案があることは間違いない。その代表的なものが焼き肉であろう。しかし同じ“焼きもの”のステーキはどうか。昔から豚肉を使ったステーキというメニューもあるが、それほど浸透はしていない。将来的には分からないが、アンケートをみる限りでは、やはりステーキは牛肉。これが世間一般の定番になっているようだ。



Q4 牛肉でステーキを焼く場合、よく使うのは

国産の普通の牛肉.....	39.8%
和牛の肉.....	32.9%
米国産の牛肉.....	3.6%
豪州産の牛肉.....	19.3%
その他の国の輸入牛肉.....	1.0%
無回答.....	3.4%

### 国産使用 4 割近くに

では消費者はどのような牛肉をステーキに使用しているのだろうか。

「国産の普通の牛肉」という回答割合が一番高く39.8%と4割近くになった。次が「和牛の肉」の32.9%でこちらも3割以上。この2つを合わせると72.7%となり実に7割以上の人が国産の牛肉を支持している。次に来るのが「豪州産の牛肉」の19.3%で国産牛肉との差は大きい。

ステーキはアメリカ的な料理と書いたが、アンケートで「米国産の牛肉」を使うと回答があったのは3.6%と5%にも満たないような割合となった。これは輸入の再開が軌道に乗っておらず米国産牛肉を取り扱っている店舗も少ないのが原因であると考えられ、これから順調に米国産の牛肉が輸入され、大手の量販店で積極的に販売されるようになれば、この数値も増えてはくるだろう。ではその場合、国産牛、和牛、豪州産のどれが減るのか。やはり価格、質を考えれば国産牛が米国産に浸食されると考えるのが妥当であろう。

では回答割合の高かった都道府県の中から抜粋して、この質問をみてみよう。

**東京** トップは36.8%で「国産の普通の牛肉」となったが、2位の「和牛の肉」が33%となり、その差は全体的な平均値よりも小

さい。「豪州産の牛肉」は22.2%となり全体の平均値を上回った。

**神奈川** 「国産の普通の牛肉」の割合は42.5%で4割を超えた。次が「和牛の肉」の29.3%でこちらは全体よりも低い数値に。逆に「豪州産の牛肉」は21.3%で全体よりも高い割合になった。一方「米国産の牛肉」は2.3%で全体を下回っている。

**埼玉** こちらもトップは「国産の普通の牛肉」で、その割合は39.2%とほぼ全体並み。ただ「和牛の肉」の割合は24.8%となり全体の平均値を下回った、その代わりに「豪州産の牛肉」が28.8%、「米国産の牛肉」が5.6%で全体の平均値を上回っており、輸入物の比率が、全体値と比較して高いという結果になった。

**大阪** 一番回答割合の高かったのは「和牛の肉」の43.9%で、全体とは1位と2位が逆転。ただ「国産の普通の牛肉」の割合も37.4%と、全体と比較してもそれほど低い数字ではなく、1位と2位を合わせると81.3%となり、全体の平均値よりも8.6%高くなっている。国産の比率がかなり高い数値になった。「豪州産の牛肉」は13.8%、「米国産の牛肉」は1.6%であった。

**愛知** こちらも大阪同様1位は「和牛

の肉」で、その割合は39.3%。「国産の普通の牛肉」は32%となり、全体の平均値よりも下回っている。「豪州産の牛肉」は19.7%、「米国産の牛肉」は4.1%で、両方とも全体並みの数値となった。

**千葉** 一番回答割合の高かったのが「豪州産の牛肉」で34.8%。実に全体の平均値よりも15%以上上回っている。次が「国産の普通の牛肉」の31.5%で、「和牛の肉」が28.1%で続いている。他の都道府県と比較しても千葉県の「豪州産の牛肉」は突出した数値となっている。

**北海道** 「国産の普通の牛肉」が48.6%と4割以上の支持を集めた。次が「和牛の肉」の24.3%で、国産と和牛の差はダブルスコアと

なった。「豪州産の牛肉」は15.7%となり全体の平均値を下回ったが、「米国産の牛肉」は8.6%で上回っている。

**福岡** 回答割合が高かったのは「和牛の肉」で42%、次が「国産の普通の牛肉」の39.1%となり、国産物の比率が8割を超える数値に。「豪州産の牛肉」は7.2%で1割を切っており、「米国産の牛肉」は5.8%と全体の平均値を上回っているが、輸入物の割合は13%とかなり低い。

**広島** 「国産の普通の牛肉」の割合は45.5%となり、全体の平均値を上回っているが、「和牛の肉」が25%と下回る結果に。「豪州産の牛肉」は22.7%と全体の平均値を上回っている。

### Q5 牛肉でステーキを焼く場合に一番使用する部位は

ロース.....	67.2%
モモ.....	3.6%
カルビ.....	7.2%
ヒレ.....	14.6%
その他.....	2.9%
無回答.....	4.5%

### ロースとヒレで8割超

ステーキときいてまず、どんな形を思い浮かべるのだろうか。多くの人がロースの形を思い浮かべるのではないだろうか。アンケートでは「ロース」がやはり多く6割以上の支持を集めた。もう一つのステーキの代名詞ともいえる「ヒレ」も14.6%の支持を集めており、

この2つで8割以上を占める結果となった。各都道府県別にみても「ロース」は65%前後の数値となっており、「ヒレ」に関しては、若干の数字の前後がある。

**東京** 「ロース」は67.9%でほぼ全体並み。「ヒレ」は13.7%で全体より

次ページへ

も若干低い数値となった。

**神奈川** 「ロース」は69.5%と7割近い割合に。「ヒレ」は12.6%で東京よりも低い割合であった。

**埼玉** 「ロース」は67.2%で全体と同じ割合に。ただし「ヒレ」に関しては10.4%となり全体値を下回っており、11.2%の「カルビ」に抜かれて3番目の支持率となった。

**大阪** 「ロース」の割合は65%で全体値を下回っているが、「ヒレ」の割合は21.2%と全体の平均値を上回る結果となった。

**愛知** 「ロース」は63.1%で全体を下回ったが、「ヒレ」16.4%、「カルビ」9.8%となり全体の平均値を上回っている。

**北海道** 「ロース」の割合は61.4%で全体の平均値よりも下がっているが、「カルビ」の割合が10%となり1割を超える結果に。「ヒレ」の割合は15.7%であった。

**福岡** 「ロース」は65.2%で。「ヒレ」と「カルビ」が13%の同率で並んでいる。

この質問を牛肉の種類別にみると、「国産の普通の牛肉」をよく使うと回答した人のうち「ロース」と回答したのは70.7%と7割以上。「ヒレ」との回答は11.8%となり全体の平均値を下回った。「和牛の肉」をよく使うと回答のあった人では「ロース」の回答が68.4%と平均値を若干上回ったが、「ヒレ」の回答は21.5%となり7%近く上回っている。

Q6 牛肉でステーキを焼く場合、購入する際のポイントは

価格.....	40.1%
国産牛肉.....	40.5%
輸入牛肉.....	0.4%
見た目.....	9.0%
量目.....	1.1%
サシの入り具合.....	6.2%
その他.....	1.0%
無回答.....	1.8%

購入には「価格」「国産」重視

「価格」(40.1%)と「国産牛肉」(40.5%)の差はほとんどなく、この2つの回答で8割以上を占める結果に。「価格」と「国産牛肉」という2つキーワードを満たせるようなステーキアイテムがあれば販売に結びついていくのかもしれない。

では、この質問を回答割合の高かった都道府県別に抜粋してみよう。

**東京** 「価格」の割合は45.3%となり全体の平均値を5%以上上回る結果に。その半面「国産牛肉」は33.5%で7%下回る数値となった。

**神奈川** 東京同様、「価格」が44.3%と平均値を上回り、「国産牛肉」が38.5%と下回った。

**埼玉** 東京、神奈川と同じように「価格」(42.4%)が上回り、「国産牛肉」(30.4%)が下回っているが、この2つの差は11.8%

となり先の二つに比べて一番大きくなっている。ちなみに「見た目」の割合も平均値を上回っており14.4%。

**大阪** 一番多くの支持を集めたのが「国産牛肉」の47.2%で、次が「価格」の35.8%。東京、神奈川、埼玉とが順番が逆転している。

**愛知** 大阪同様「国産牛肉」の割合が41.8%、「価格」40.2%となり、若干の差ではあるが「国産牛肉」がトップになった。

**千葉** 一番支持率が高かったのが「価格」の47.2%で「国産牛肉」は34.8%となり2位に。

**北海道** 「価格」が42.9%でトップ。「国産牛肉」の支持割合は37.1%であった。

**福岡** 「国産牛肉」の支持が高く49.3%と5割近い数字に。「価格」は30.4%となりかろうじて3割を維持した。

このようにみていくと、一概にはいえない

が東日本と西日本で差が出てきていることが分かる。どちらかといえば東日本は価格志向、西日本は国産指向が強いといえるのではないだろうか。もちろん西日本の中にも広島（「価格」40.9%、「国産牛肉」36.4%）のような回答割合もあるが、牛肉へのこだわりが強い地域であればあるほど国産志向が強くなってきているのではないか。

では部位別にこの質問をみてみよう。

「ロース」と回答した人は「国産牛肉」の割合が高く42.1%。しかし「価格」も41.3%となっており、両項目の差はわずかである。「ヒレ」に関しても「国産牛肉」の回答割合が高いが47.8%と2位の「価格」の29.4%を大きく引き離しており、ヒレをステーキでよく使う人はロースを使う人に比べて国産志向がより強いという結果がアンケートからはみとれる。

Q7 牛肉でステーキを焼く場合、購入する時の平均的な1枚あたりの金額は

200円以下.....	1.6%	201～400円.....	8.0%
401～600円.....	16.4%	601～800円.....	16.0%
801～1,000円.....	20.5%	1,001～1,200円.....	14.6%
1,201～1,400円.....	5.2%	1,401～1,600円.....	6.3%
1,601～1,800円.....	1.8%	1,801～2,000円.....	3.5%
2,001円以上.....	2.7%	無回答.....	3.4%

一枚「801～1,000円」が多い

一番回答の割合が高かったのが20.5%の16.4%、「601～800円」の16%、「1,001～1,200円」の14.6%の順となっていて次ページへ

る。この上位4つの価格帯を合わせると67.5%の人が401～1,200円の価格帯でステーキを買っていることになるわけだ。

では401～1,200円前後の価格帯に絞って都道府県別にこの割合をみてみよう。

**東京**  
 401～600円.....19.8%  
 601～800円.....17.9%  
 801～1,000円.....20.3%  
 1,001～1,200円.....10.4%

**神奈川**  
 401～600円.....15.5%  
 601～800円.....20.7%  
 801～1,000円.....17.2%  
 1,001～1,200円.....17.2%

**埼玉**  
 201～400円.....12.8%  
 401～600円.....24.8%  
 601～800円.....17.6%  
 801～1,000円.....18.4%  
 1,001～1,200円.....11.2%

**大阪**  
 401～600円.....14.6%  
 601～800円.....12.2%  
 801～1,000円.....24.4%  
 1,001～1,200円.....13.0%

**愛知**  
 401～600円.....11.5%  
 601～800円.....18.9%  
 801～1,000円.....18.9%  
 1,001～1,200円.....19.7%

**千葉**  
 201～400円.....11.2%  
 401～600円.....25.8%  
 601～800円.....9.0%  
 801～1,000円.....11.2%



1,001～1,200円.....19.1%  
**北海道**  
 201～400円.....12.9%  
 401～600円.....22.9%  
 601～800円.....17.1%  
 801～1,000円.....18.6%  
 1,001～1,200円.....10.0%

**福岡**  
 401～600円.....13.0%  
 601～800円.....14.5%  
 801～1,000円.....21.7%  
 1,001～1,200円.....23.2%

隣接する県であっても各都道府県では差がでている。

部位別にこの価格帯の割合をみてみよう。「ロース」は「801～1,000円」の割合が一番高く19.9%。ただし「401～600円」17.5%、「601～800円」17.6%、「1,001～1,200円」15.4%となっており、この4つの価格帯にそれほど大きな差はみられない。一方、ヒレは「801～1,000円」の価格帯の割合が一番高いが25.4%となり、2位の「1,001～1,200円」の16.5%を9%近く引き離している。3位は「601～800円」の13.6%。「401～600円」は9.2%となり10%を切った。

ではもう一つ。購入ポイントの「価格」と「国産牛肉」で分けてこの質問をみてみよう。

「価格」と回答した人の中で一番回答割合が高かったのは「401～600円」の価格帯で、その割合は24%。4分1近い人がこの価格帯を支持している。この数値を全体の平均値と比べると8%弱高い。次いで「601～800円」の20.1%、「801

～1,000円」の19.4%となった。「国産牛肉」と回答があった人は「801～1,000円」の価格帯の割合が一番高く22.8%全体の割合と比較すると2%以上高くなっている。次にくるのが20%の「1,001～1,200円」で

こちらは全体の平均値よりも5%以上高くなっている。やはり「価格」と「国産牛肉」というポイントでは売れ筋の価格帯の山はずれて行くようだ。

Q8 ステーキがテーブルに乗る機会が減っていますが、その主な理由は何だと思いますか

- 匂いが部屋に残る.....7.1%
- 家族があまり好きではない....1.0%
- 価格が高い.....43.4%
- おいしく焼けない.....16.4%
- 外食店へ食べに行くから...17.4%
- 牛肉自体を食べなくなった....7.1%
- その他.....3.9%
- 無回答.....0.7%

## 敬遠の理由は「価格が高い」

焼き肉や鍋物と比べてステーキは準備や後片付けなどがしやすいメニューである。そんな使いやすいメニューであるのに最近では食卓に乗る頻度が減ってきている。それは何が原因なのであろうか。

アンケートでは「価格が高い」との回答割合が一番高く、43.4%と4割以上の方がその要因にあげている。次が17.4%の「外食店へ食べに行くから」であるから、その差は26%もあるわけだ。先の質問でよく買う価格帯が出てきたが、多くの方がその価格帯には不満をもっているということなのだろうか。ならばその価格帯を少し下げようとする設定をすればステーキの需要喚起につながっていくだろう。

回答割合の高かった上位10都道府県の中から特長のあった数値だけを抜粋して見てみよ

う。「価格が高い」との回答割合が一番高かったのは千葉県の48.3%で、一番低かったのは埼玉県の34.4%であった。近隣の県ではあるがこの両県の間には14%近い差がある。

「外食店へ食べに行くから」との回答割合が一番高かったのも千葉県で21.3%。一番低かったのは福岡県の5.8%であった。

「おいしく焼けない」の回答は兵庫県が一番高く、その割合は26.2%。逆に一番低かったのは、これも近隣の大阪府で12.2%であった。

ちなみに「後片付けが大変」の1位は大阪の6.5%。「匂いが部屋に残る」の1位は兵庫の11.9%。「家族があまり好きではない」の1位は静岡の3.6%。「牛肉自体を食べなくなった」の1位は1%の差で東京を抜き北海道(10%)となった。